



食包協会報 第179号（2023年7月号）ご案内

平素は「食包協会報」をご愛読いただきまして誠にありがとうございます。このたび第179号（2023年7月号）を公開いたしました。今号では4編の記事を掲載しております。

1編めは「**分別塗工方式による新規無溶剤型接着剤（DUALAM）**」と題し、DIC株式会社の川崎徳士様に、新規開発品の無溶剤型接着剤「DUALAM」を解説いただきました。無溶剤接着剤が抱える意匠性や生産性の課題を解消し、無溶剤型ラミネートの適用範囲の拡大、高速加工やエネルギー削減、廃棄ロスの削減を実現しました。レトルト用途の開発への挑戦、アジア各国での導入など、この先の展開も非常に期待が高まります。

2編めは「**パルプモールド需要の最新動向と新製品**」と題し、日本モールド工業株式会社の石原雄大様にパルプモールドの製造方法や種類、市場動向、環境性能、開発動向などを解説いただきました。パルプモールド容器の環境配慮型の特性に注目が集まり、顧客の要望は緩衝機能に加え、美粧性、環境性能・安全性、機能性、創造性へと進化しています。食品容器用途の需要も急増とのこと。パルプモールド全般の知識を深め、動向も把握できる内容です。

3編めは「**運送事業の現況と課題**」と題し、食品原料や農畜産物などの輸送業務を行う株式会社エスワイプロモーションの原岡洋之様にご執筆いただきました。2024年問題に対して深刻な課題が生じているのはご存じの通りです。ドライバーの採用・定着に難航し、品質管理にも重圧がかかっています。輸送距離や納入時間指定の厳しい状況もあり、労働環境の改善と輸送の効率化が急務です。外的要因も影響を及ぼし、対応に苦慮されています。これら課題に対し、わたくしたちが協力できることはないか考えましょう。

4編めは「**公益財団法人流通経済研究所のご紹介と活動取り組み等について**」と題し、公益財団法人流通経済研究所の加藤弘貴様に、事業内容と活動の詳細を説明いただきました。研究開発、政策調査、人材開発、情報サービス、調査・コンサルティングの5本の事業があり、企業から研究活動に参加されている方もいらっしゃるかと伺っています。流通にかかわる課題に対して多角的視点からのアドバイスもいただける研究所ですので、この機会に理解を深めていただければと思います。

弊会の広報活動委員会では、これからも魅力ある記事の発信に努めて参る所存です。引き続きご愛読のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご多用のところ執筆を快くお引き受けくださいました川崎様、石原様、原岡様、加藤様に、心から厚く御礼を申し上げます。

2023年7月28日

広報活動委員会 橋本 香奈